

令和4年度第4回伊丹市スポーツ推進審議会 議事録

日時：令和4年11月14日(月) 10時～11時
場所：議会棟3階 第2委員会室

出席者：8名 傍聴者：1名

○会長挨拶

○会議録署名人の指名

○議 事

議題(1)「伊丹市スポーツ推進計画中間見直し」答申案の検討について

(質疑応答)

(会長)

本日は、スポーツ推進計画中間見直しの最終回となり、これまでの議論を踏まえ、資料13の答申案となっている。本日の内容がそのまま答申の内容となるので、細かな表現を含めて確認してもらいたい。

それでは、第1章から第3章の見直し案について、事務局から説明をお願いします

(事務局) 第1章～第3章の見直し案について資料13に沿って説明

(会長)

前回の会議を踏まえて、訂正したところを中心に説明をしてもらった。それでは、何かご質問、ご意見はありませんか。

(副会長)

きれいにまとめており、また、前期での取組を別表でつけていてどういうことをしたのかわかりやすくなってよかったと思う。内容ではないが、表中の取組のところ、改行後1文字だけ行の頭にきているなど、どこから文が始まるのかが見づらいと思う。このように体裁のところだけ気になった。もう少し見やすくなればと思う。

(会長)

内容というより、表現の仕方ということですね。

(事務局)

ありがとうございます。もう少し見やすくなるように修正します。

(A委員)

13ページのニュースポーツイベント(ペタンク)と幼児体操教室の写真について、幼児体操教室のほうは、伊丹スポーツセンターと場所が書かれているが、ニュースポーツイベントはペタンクをしていることだけで、場所が書かれていない。

また、11ページのジョギングを楽しむ市民の写真については、どこの公園であるか場所を書いていない。スポーツ推進委員さんの活動として、9ページに写真を載せているが、可能であれば、どういう場で推進委員さんが活動されているのかを書くと、すごくイメージしやすくなるかなと思う。

不要かもしれないが、13ページの写真がその前のこれまでの取組を受けているのであれば、どこの施策に該当するものかという事をつけてもいいのかなと思う。

(事務局)

はい。写真をどの場所にどのようなものを載せるかについては、最終的に冊子にするまでに整理したいと思う。その際には、今ご意見を頂いたように、どこの場所で活動しているのかということを知りやすく、書かせて頂きたい。

(B委員)

10 ページですが、学校体育の中学校体育連盟の取組内容として、「中学校体育に関する調査研究の実施」とあるが、中学校体育となると、体育の教科のことになり、中学校教育研究会保体部会となるので、この部分を抜いて頂いたほうがいいかなと思う。体育に関する調査研究は、中体研でやっており、体育連盟としては、部活動に関するとかならば該当するかと思う。そのあたりが、少し気になった。

(会長)

ということは、その文言をスポーツにする方がよいという意味ですか。

(B委員)

そうですね。中学校体育となると授業の強化に特化しているように捉えられる場合があると思うので。

(会長)

言っている意味もわかります。はっきりと学校スポーツとして出すほうがよいと言う意見ですね。出るならそのほうがよいということですか。

(B委員)

出るならそのほうがいいし、それかここを削除して頂くかですね。

(会長)

今、スポーツか体育かと言うのは、色々ところで言われているが、そのあたりの見解はどうですか。

(副会長)

中学校部活動に関するという言葉ならば、いいですよ。

(B委員)

はい。

(副会長)

実態に合わせた形で表記して頂ければよいのではないかと。体育だ、スポーツだというよりも。

(会長)

学校部活動ですか。

(副会長)

はい。実態としてないのなら、削除した方がいいのではないかと。実態に合わせて表記を変えて頂ければよいと思う。

(会長)

事務局よろしいですか。

(事務局)

ここを変更させてもらったのは、中学校体育連盟の規約に書かれていた内容を挙げており、実際には、主に中学校部活動に関することでしたら、ここを削除させてもらってもよいかとも思う。例えば、「中学校活動指導者の指導力の向上等に関する調査研究の実施」にするなど、その他にどのような表現が良いのかを教えてください。

(B委員)

はい、その表現で大丈夫です。

(事務局)

そうしましたら、等でまとめ、「中学校部活動指導者の指導力の向上等に関する調査研究の実施」ということにさせて頂いてもよろしいですか。

(B委員)

はい。

(会長)

そういうことで他の委員さんもよろしいですか。では、他にありますか。それでは、次の第4章にいきたいと思います。まず事務局、説明をお願いします。

(事務局) 第4章の見直し案について資料13に沿って説明

(会長)

第4章についても、若干、前回から訂正、修正が入っているが、その他表現も含めて何か、ご意見がありませんか。ないようなので次に移ります。第5章につきまして、事務局から説明をお願いします

(事務局) 第5章の見直し案について資料13に沿って説明

(会長)

第5章について、ご意見をお願いします。特にこの章は、みるスポーツのバリアフリーとかユニバーサルデザインの推進というところがある。表現的なことも含めてよろしいか。それでは特にないようなので、次に第6章の説明をお願いします。

(事務局) 第6章の見直し案について資料13に沿って説明

(会長)

訂正部分について説明がありましたが、その他のことも含めてご意見をお願いします。

(A委員)

表記について、スポーツボランティアリーダーは、リーダーの前に中黒の点が付けられていて、ボランティアメンバーの方にはないのですが、このあたり、何かつける、つけないという基準があるのか。30ページの下のほうの文言です。

(会長)

30ページの下のほうの文言ですね。事務局、はい、どうぞ。

(事務局)

明確な住み分けというのは、今、特にないが、つけないほうが良いということかと思うので、全部、中黒の点を取ろうと思うが、いかがですか。

(A委員)

ボランティアメンバーには、中黒の点が入っていないのですね。これは、何か基準があるかと言われると、正直苦しいところである。スポーツボランティアリーダーを続けると、たぶん、スポーツとボランティアとリーダーと三つの要素がくっつくため、読みづらさを少し解消されたかったのかなと思う。消してくださいという意図ではないです。この形でもいいが点を取るとまたわかりづらいという話も出るかなと思う。ちょっと気になったというところでは。

次に確認だが、ボランティアの育成から養成に変えているが、なぜ変えたのかをお尋ねします。

(事務局)

前は、タイトルが「スポーツボランティアの育成と活用」となっていたが、文章の中身が、養成の推進に努めますとなっており、タイトルと内容の文言が合っていなかったため、どちらに統一すべきかを事務局で検討した。養成は、一から、育てるということに使われるということが多く、育成は、ある程度、育った方をさらに育てるというようなニュアンスで使われているというようなことがあったため、この計画の中では、選手については、育成という言葉にさせて頂き、ボランティアや指導者については、一から養成していくという意味で、養成として使い分けを統一させて頂いている。

(A委員)

わかりました。ありがとうございます。

(会長)

よろしいですか。

ささえるスポーツの推進というのは、今回の答申の中でも、これから特に力を入れていかなくてはいけない部分であると私も思っている。重点的に実践をしていく中で、ボランティアやサポーターなどそのような人たちの発掘をしていかなくてはいけないと思う。実施面においても、事務局ともども頑張っていきたいなという思いを持っている。これは答申と直接には関係ないが、私の思いでもある。

他にありますか。それでは第6章を終わらして、第7章をお願いします。

(事務局) 第7章の見直し案について資料13に沿って説明

(会長)

第7章について、訂正部分の説明があったが、ご意見ををお願いします。

(A委員)

36ページの取組3の「スポーツフォトやスポーツファッションなどのスポーツアートを推進する」のところであるが、結構、このあたりはいろいろな話が、前回も出たと思う。

特にファッションナブルなスポーツウェアをテーマとしたイベント等なので、問題はないかなと思うが、今思ったことは、例えば、スポーツに何か関連づけた、例えば国際大会とかを契機にした色々な国のアートやファッション等を扱ったりすることもあるかなと思う。2002年のサッカーワールドカップの時に、神戸のファッションミュージアムで、出場国の色々なファッションや文化を展示し、スポーツを契機にして色々な文化に親しむという形があった。スポーツウェアに限っている訳ではないが、これだけではないというような少し幅の広さがあればいいかなと思う。

あと、スポーツの動き、ダンスに近いもの等もあると思うし、広過ぎるかもしれないが、書道も、大きな半紙に大きな筆を使う大きな動きがある。スポーツというよりは、大きく体を動かすようなファッションの中にもスポーツ要素があるというようなものが少し入ってくるといいのかなと思った。これからどんどん広がっていくので発想の幅を広く持てますよと

という意味合いの内容が、スポーツウェアだけではなく、入ってもいいのかなと感じた。

(事務局)

今、ここにはファッションナブルなスポーツウェアをテーマにしたイベント等をと書いているが、スポーツウェアに特化しないほうがいいという事ですか。

(A委員)

イベント等と書かれているので、含まれていると思うが、これから広がっていくと思うので、何かもう一つぐらい例があってもよいかと思う。書かれているのは、スポーツを軸にしたファッションという感じであるが、そうでないところでもスポーツ要素があるという事を少し出してもいいのかなと思う。

今も具体的に何がいいのかと思いながらお話ししているのだが、楽しみ方を広げるという事が大きなポイントだと思う。そんなに捉われなくていいよという感じを暗に出せたらよいと思う。もちろん、このウェアの話が悪いと言っている訳ではなく、これもあるが、他にも結構、色々あるという話ができれば、色々な楽しみ方ができるという事を色々な人が感じてもらえるのではないかなと思った。

(会長)

内容を大きく変更するという事ではないと思うが、今言われたようなことを含めて、表現を考えるというようなことでよろしいか。

(A委員)

何かもう1個、例があってもいいかなということで、この会が終わった後でも考えたいと思う。

(事務局)

はい。そうしましたら、会の後に表現の検討をさせてもらいたいと思います。

(A委員)

はい。

(会長)

はい。他にありますか。

(C委員)

37 ページに写真がいくつかあり、いずれもイメージと書かれているが、3×3バスケットボールは、今年も3年ぶりに三軒寺前広場で実施しており、過去3回ほどの実績もあるので、その辺の写真の提供ができるようであれば、実際の写真を引用される方がいいかなと思う。

(事務局)

ありがとうございます。実際にご活躍されている写真を載せたいと思う。写真については、全体として、今回の答申の後に精査するので、その際には、また個別でご相談したいと思うので、よろしくお願いいたします。

(会長)

他にご意見ありますか。

(C委員)

言葉の表現ですが、26 ページの重点施策2の「みるスポーツ文化の充実」で、東京オリパの表現が「東京2020オリンピック・パラリンピック大会が開催され」という表現で、23

ページの重点施策4の障がい者の実施者を増やすでは、「令和3年に開催された東京パラリンピック大会」となっている。どちらでもいいのかなと思うが、敢えて統一する必要があるのか、ないのかも含めてどうかなと思う。別に令和3年に開設されたと入れずに「東京2020パラリンピックを機に」だけでもいいのではないかと思ったが、いかがですか。26ページの表現でいいのではと。

(事務局)

ご指摘頂いたところは、悩んだところでして、23ページの方は、オリンピック開催が1年延期されたということもあり、このあたりをはっきりと書いたほうがいいという事で、書き方を変えた。確かに今見たら、C委員がおっしゃるように統一した方が、わかりやすいと思うので、26ページの「東京2020オリンピック・パラリンピック大会」という表現に合わせる。

(会長)

はい。他にありませんか。
それでは一応、第1章から第7章まで見直しをして頂いたが、若干のご意見等があった。最終的な修正については、この後、私と事務局の方で行い、答申に向けて最終のものを作っていきたいと考えている。そういうことで審議会という形はとれないが、私と事務局に一任をして頂けたらと思うが、よろしいですか。

(全委員)

異議なし

(会長)

はい。ありがとうございます。
それでは全体を通して何か、最終的にご意見ありましたらお願いします。

(副会長)

細かいことだが、31ページでは、令和5(2023)年になっているが、令和の元号の後ろを半角にするように統一されているならば、他に全角で残っているところがあったので、確認して頂ければよいかなと思う。

(事務局)

はい。

(会長)

それでは一応、これで修正部分についてのご意見は、一旦終わりにしたいと思う。

○議 事

議題(2)「答申書鑑文(案)」について

(質疑応答)

(会長)

それでは、次に事前に配布をしている答申書の鑑文について、内容を検討頂きたい。
答申の鑑文なので、内容的にはこのようなものかと思っている。具体的なことについては、答申をするときに、直接、口頭でいくつかの点については、申し上げたいと私自身は思っている。鑑文としては、この程度でと思うがよろしいですか。

(全委員)

異議なし

(会長)

はい。それでは、これを本体につけて教育委員会に提出をしたいと思う。
なお、答申の際には、本日の資料としてはつけていないが、最初に出したスポーツ推進計画の後半に資料編という形で、市民意識調査の概要や審議会の経過、委員名、用語の解説を付けているが、今回の答申にもそういうものを合わせて、提出をしたいと考えている。
その内容についても、私と副会長に一任頂きたい。
よろしいですか。

(全委員)

異議なし

(会長)

はい。ありがとうございます。事務局で精力的に整理をし、資料をまとめてもらったため、会議もスムーズに運ぶことができた。予定していた時間よりも早く、すべてが終了したが、今後の予定等について事務局から説明をお願いします。

(事務局)

今後の予定ですが、明日 15 日火曜日の午後に会長から教育委員会宛に答申書を教育長に手渡しして頂く予定である。この答申を踏まえ、市において計画案を作成し、議会での意見聴取や、教育委員会の議決を経て、年明け頃にパブリックコメントを実施し、今年度中に中間見直し版の計画を策定する予定としている。

(会長)

はい。
委員の皆様は、それぞれ大変お忙しい方ばかりであるのに、短期間に答申をまとめなくてはいけないということで、ご無理をお願いした点多々あったと思う。ご協力を頂きまして無事、何とか答申をまとめることができた。改めてお礼を申し上げたいと思う。
なお、今後、事務局サイドでは、実施に向けて手続き等の作業が残っている。
また、来年度からの本実施についても、事務局には大変お世話になるが、答申の内容がスムーズに実行に移せるよう、ぜひ頑張って頂けたらと思う。
必要がありましたら、私達にも言って頂いたら、協力をしていきたいと思っているので、今後ともどうぞよろしくお願いします。
委員の皆様には、本当に大変お世話になりました。ありがとうございました。
以上で、本日の会を終了させていただきます。

(閉会)

伊丹市審議会等の会議の公開に関する指針第 5 条第 3 項の規定により、ここに署名する。

令和 4 年 12 月 28 日

会議録署名委員

会議録署名委員